

すすかけ5月号

令和6年5月 1日
所沢市立若狭小学校

未来を生きる力を育む ふるさと若狭

1年生が仲間入り

保護者の皆様と職員に見守られ、68名の1年生が若狭小学校の仲間入りをした入学式から1ヶ月。子供たちは、毎日元気いっぱい登校しています。はじめて会った友達、はじめて会った先生、何もかもがはじめての学校生活です。ゆっくりと学校に慣れ、若狭小学校が大好きになってほしいです。

4月16日(火)には、代表委員会が中心となり、1年生を迎える会が行われました。〇×クイズや1年生と6年生を比べるコーナーなどを代表委員が準備をしてくれていて、1年生から6年生まで全員が楽しみました。短い期間でこれだけの準備を行ってくれた代表委員は大変だったと思います。また、2年生から5年生は丁寧に作ったプレゼントを渡してくれました。これもまた、新学期が始まって1週間での準備です。さすが、若狭の子供たち。6年生は、毎朝、1年生の教室に行っています。ランドセルの支度、トイレの声かけ、楽しい話し相手など。かわいい1年生のために自分たちができることを考えて行動する姿に、若狭小学校の最高学年としての頼もしさを感じています。



1年生、はじめての給食



1年生を迎える会

リアルなコミュニケーションを通して



令和5年度安全・安心な学校と地域づくり推進支部会議の取組で募集した「あいさつ標語」で本校2年生作の「あいさつに なまえをつけると ぽっかぽか」が支部長賞に、6年生作の「こんにちは 運命の出会いが 始まるよ」が佳作に選ばれました。

「あいさつ」にあえて名前をつけるとしたら「ぽっかぽか」。なんてすてきな感性でしょう。確かにあいさつを交わすと、心があたたかくなります。逆に、あいさつをし損なってしまったり、あいさつを返してもらえなかったりすると、心には冷たい風が入ったよう。

あいさつは人間関係の第一歩ですから、「運命の出会いが 始まる」かもしれせん。言葉を交わさずに通り過ぎることもできますが、あいさつを交わすことでよい人間関係をスタートさせたいです。

とはいえ、恥ずかしさからあいさつの声が出せない子供も多いです。校内で知っている先生にはできていても、地域にでるとあいさつができない様子も見られます。見守りの方からは「毎日会っているからあいさつしてくれるよ」という声もいただきます。

大人があいさつする姿が子供たちにとっては一番の学習環境です。引き続き、皆様からあいさつを掛けてあげてください。あいさつがあふれる若狭の地域を共に育みましょう。